

令和2年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
（「指定管理者候補者選定」に係る審査）

1 開催日時 令和2年10月8日（木） 11:00 ～ 11:40

2 開催場所 青森市柳川庁舎2階大会議室

3 対象施設 青森市浪岡交流センター

4 出席者

(1) 選定評価委員	委員長	小野 正貴（企画部次長）
	委員	池田 享誉（青森公立大学准教授）
	委員	佐々木 信一（東北税理士会青森支部税理士）
	委員	柿崎 哲男（市民部次長）
	委員	荒内 隆浩（経済部次長）

(2) 施設所管課（地域づくり振興課）

課長	木村 浩一
主幹	今村 剛志
主事	戸崎 蓉子

(3) 制度所管課（財政課）

副参事	鈴木 健司
主幹	熊谷 圭介
主査	盛 将秀
主査	吉田 敏和

5 案件 「指定管理者候補者選定」に係る審査

6 会議概要 応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答の後、指定管理者候補者の選定を行った。

(1) 審査結果

①指定管理者候補者

- ・名称 浪岡商協
- ・住所 青森市浪岡大字浪岡字細田105番地1
- ・代表者 小倉 尚裕

②指定期間

令和3年4月1日からの5年間

③選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「応募団体について」を除いた点数（113.17点）が最低得点（87.5点）以上を獲得していること。
- ・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた場合に、普通とした点数及び「財務の健全性」の配点の50%の点数の合計（70点）以上の点数（88.10点）を獲得していること。

7 主な質疑内容

委員：施設運営に関し、利用者からの要望や苦情はあったか。

応募者：コロナウイルスの影響もあって軽食店用の施設が使用されていない状況であり、利用者から軽食等の提供を要望されているが、現在、施設使用希望者と調整しており、12月頃から軽食店の営業を再開できる予定である。

委員：自主事業の取組はあるか。

応募者：カシスジャム作りの講習会をしたことがあったが、経費や参加者数の収益面から、継続できなかった。現在は、必須事業を中心に取り組んでいる。

委員：青森市浪岡商業協同組合の財務は、当期純損失を計上しているが、今後改善の見込みがあるのか。

応募者：今年度から街路灯管理事業を運営しており、広告用看板を活用した収入等が増加している。併せて徹底した経費節減により財務状況を改善しており、来年度以降は単年度黒字になる見込みである。

委員：低温熟成施設について、大学と連携して活用しているというのは、具体的にどういうことに活用されているのか。

応募者：現在、大学と連携して、リンゴの保存実験をしているところである。

また、平成30年度、令和元年度には民間事業者が雪下ニンジンの再現実験を行った。

今後も、大学や事業者等と連携し、地場産の果物や野菜の保存等の実験に活用していきたい。